

科目「マーケティング」学習指導案（2／3）

段階	時間	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価の観点			評価方法
						知技	思维的態度	主体的態度	
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> 前時の復習 本時の内容 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習内容を復習する。 本時の内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 理解の遅れている生徒には助言を行い、発言をさせる。 本時は商品管理や在庫管理の手法について学習することを伝える。 					
展開	15分	<ul style="list-style-type: none"> 商品回転率の分析 	<ul style="list-style-type: none"> 商品回転率と粗利益率を探究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 商品回転率について、再度復習させる。 売上原価について、発問しながら、確認をさせる。 ワークシートの同業他社（小売業）の分析をさせる。問題3【グループワーク】 	<ul style="list-style-type: none"> 企業の分析を行い考察して、意見を積極的に出し、自分の考えを論理的に発言できる。 		○		発言
	10分	<ul style="list-style-type: none"> 在庫管理の重要性 	<ul style="list-style-type: none"> 在庫管理の重要性を探究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業にとって、在庫が充足しているメリットまたは、在庫が不足しているデメリットを考えさせる。在庫管理の重要性を理解させる。 ワークシートに記入させ、グループごとに発表させ、情報を共有させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 商品回転率を理解した上で、在庫管理の重要性を考察し、グループでの意見を発表できる。 			◎	発表
	15分	<ul style="list-style-type: none"> 交差比率 	<ul style="list-style-type: none"> 交差比率の重要性を探究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 商品の交差比率とは何かを理解させる。 粗利益率とは何か、理解させる。例を挙げてどの商品がよいか考えさせる。【グループワーク】問題4 	<ul style="list-style-type: none"> 				
まとめ	5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の内容を再確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 商品管理を行う理由を考えさせる。 					

科目「マーケティング」学習指導案（3／3）

段階	時間	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価の観点			評価方法
						知技	思 判 表 等	主 体 的 態 度	
導入	5分	・本時の内容	・本時の内容を理解する。	・本時は企業の方から実際の商品を例に、在庫高調整の手法について学習することを伝える。					
展開	25分	・企業人講話	・企業の方から実際の商品について話を伺う。	・実際の商品を例に挙げて、商品回転率・粗利益率・売上原価について理解させる。 ・実例を挙げて、在庫処分による方法を理解させる。 ・実例を挙げて、商品の物的管理について理解させる。					
	5分	・発表準備	・授業を振り返り学んだことを整理する。グループの意見をまとめる。	・論理的に発言できるように留意して思考させる。 ・グループの中で積極的に参加し発言させる。					
	10分	・全体での情報共有	・授業を振り返り学んだことを整理する。	・グループごとに商品計画の分野で学んだことを全体に対して発表させる。また、企業人講話での感想を発表する。	・全体の場で積極的に発言をすることができる。			◎	発言
まとめ	5分	・本時のまとめ	・本時の内容を再確認する。	・商品計画で重要なことを考えさせる。	・本時の内容を踏まえ、商品計画を行う理由を考察できる。		○		